

てながあしなが
手長足長 2

ひさしぶりに、お日さまの光を見た村人たちは、とてもよろこんでいます。

「お日さまじゃ、お日さまじゃ。」

「これで、たすかったぞ。」

①むらびと
村人たちが、ほっとしていると、雲のすきまから、足長手長がおそろしい顔を出して、空から村を見下ろしています。

「うわあ。かいぶつじゃ。」

「あいつらのせいじゃったのか。」

おびえている村人たちを、足長手長がおもしろがって見ています。

「つぎは、こうしてやるわい。でゅふでゅふ。」

問——①村人たちがほっとしたのは、なぜですか。

ア ずっとつづいていた日でりが、おわって、雨がふったから。

イ ずっとつづいていた大雨が、やんで、お日さまがでたから。

ウ ずっとトイレをがまんしていたけど、やっといけるから。

エ 足長手長が、やっといなくなったから。

「」

また、雲を^{くも}あつめてきて、お日さまをかくすと、村の^{むら}さくも^{うえ}の上に顔を^{かお}つきだして、

「ふっ、ふっ、ふう〜」

こんどは、あらしのような風を^{かぜ}おこし、さくもつをふきとばします。

こんなふうには、^{あしながてなが}足長手長は、つぎからつぎへといったずらをくりかえします。そして、いつまでたっても、^{あいづばんち}会津盆地から^た立ち

さるようすは ありません。

「ああ、あいつらのせいで、せつかくのさくもつが、だいなしだ。」

「なんとかならないものか。」

^{むらびと}村人たちは、^{あしながてなが}足長手長をうらみますが、^②あいてはかいぶつなので、^{むらびと}どうすることもできません。しかし、このままでは、^②村人

問2 ——— ②「このままでは、^{むらびと}村人たち

は、うえ死^じにて しまいます。」とありますが、なぜですか。

ア このままでは、たべるものがなくなるから。

イ このままでは、ちきゅうがほろんでしまうから。

ウ かおがぬれたままでは、^{ちから}力が^で出ないから。

エ ジャムおじさんが、パンをつくってくれないから。

「 」

私たちは、うえ死に^じしてしまいました。

そんなある日、会津の村に、一人のたびのぼうさまがやってきました。

あれた村^{むら}のようすにおどろいたぼうさまは、村人^{むらびと}に話を聞^ききました。

「それは「③」やつらじゃ。では、わしがそのかいぶつをこらしめてやろう。」

ぼうさまは、一人^{ひとり}で磐梯山^{ばんだいさん}のちようじようにむかって、のぼって行^いきました。

やがて、ちようじようにたどりつくと、

あしながてなが^{あしながてなが}で
「足長手長！ 出てこい！」

おお^{おお}こえ^{こえ}だ^だ
大きな声を出しました。その声は、あたりの山^{やま}という山^{やま}にこ

だまして、会津盆地^{あいづぼんち}ぜんたいにひびきわたりました。

問3 「③」には、どんなことが

入^{はい}りますか。

ア おいしい

イ かつこいい

ウ かわいい

エ ひどい

「
」